



地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 TEL22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 TEL23-4121

小学1年生の黄色いランドセルカバーと中学1年生の真新しい制服に、新年度の始まりを感じる季節。「こばやしスクールサポートボランティアセンター(KSSVC)」と「小林市キャリア教育支援センター」の広報紙「てなむ」(西諸弁で「一緒に」)をお届けします。

今、市内の小中学校では、学校と地域・事業所・各種団体などが一緒になって子どもたちの学びや成長を支えるさまざまな取組を行っています。それらは、参加した大人にとっての「学びや生きがいづくり」にもなり、ひいては地域の活性化にもつながるものです。

2つのセンターでは、「てなむ」を通して学校に関わる活動や事業を紹介していきます。

紙面は、甲斐(KSSVC)と佐土原(キャリア教育支援センター)が担当します。

よろしくお願ひします。🌱🌱🌱🌱🌱

2・3月の地域学校協働活動です。(旧学年)

須木小 料理教室

4~6年生のクラブ活動



昨年に続いて実施しました。講師は学校の近くにある「洋菓子工房プチパリ」のパティシエ、須木小出身の前原さん。現在は高原にお住まいで、毎日、須木に通っているそうです。

教えてもらったのはグミとマシュマロ。砂糖とゼラチンを混ぜたり、卵白を泡立てたり…。子どもたちは楽しく取り組んでいました。

前原さんのこだわりは材料に加えたゆずの果汁とゆずピール(ゆずの皮の加工品)。どちらも須木の特産品です。

さつまいもの収穫時期に「がね」(さつまいものかき揚げ)や「ねったぼ」(いもち)を、地域の方に教えてもらっている学校もあり、中央公民館の講座でも、地元の食材を使った料理教室がよく開かれています。

子どもも大人も、ふるさとに愛着をもつきっかけの一つが「地元の味」かもしれません。

📌 **学校のお手伝いをさせていただくボランティアを募集しています。特別な人だけの活動ではありません。どなたでも参加できます。詳しくは社会教育課までお問い合わせください。**



細野小 霧島岑神社の動画撮影

3年生



社会科の授業で学習した霧島岑神社について、参拝者に紹介する動画を作りました。この日は、リハーサルの後、6か所に分かれて撮影。同行したICTサポーターの上野さんにチェックしてもらい、

後日、QRコードの掲示板を設置しました。

児童の役割は演技者、ナレーター、カメラマン、メイキングカメラマン。紹介したのは…

仁王像、参道の歩き方、手水の作法、参拝の仕方などです。子どもたちの学びが、訪れる多くの方々の学びへとつながることでしょう。

神社を訪れた際は、動画もぜひご覧ください。

野尻小 ボランティア感謝集会



お世話になっている4つの団体の代表の方々をお招きしました。昨年5月の「出会いの会」はリモートでしたが、今回は、直接、感謝の気持ちを伝えることができました。



- 左から…
- 下玉利さん (見守り隊)
- 西原さん (読み聞かせ)
- 永井さん (学習支援)
- 古川さん (棒踊り保存会)

代表児童のあいさつの後、学年ごとに感謝の言葉を添えてプレゼントを渡しました。皆さんからは、毎朝の元気なあいさつ、絵本を通じた心の触れ合い、掲示している発想豊かな作品、圧巻だった運動会の棒踊りなど、さまざまな感想と喜びの声も寄せられました。

地域と学校が協力しながら子どもたちを育てていることがよく分かる感謝集会でした。

裏に続きます。

こんにちは！
小林市キャリア教育支援センターです



【キャリア教育とは】

「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。個人が社会で自立し、職業的に成功するために必要なスキルや資質を教育によって身につけることを目的としています。具体的には…

◆ 個人の興味や適性を見極め、それに合わせた教育プログラムを提供することで、子どもたちが自己決定力や問題解決能力、コミュニケーション能力、協調性、自己啓発力などのスキルを磨き、職場や社会での成功を支援します。

◆ キャリア発達を促すために、自己分析や職業探求、就職活動などについても教育を通じて学習し、子どもたちが自らのキャリアに対する意識を高めるように伴走(サポート)することも重要な役割のひとつです。

これからの時代は「情報技術やグローバル化によって生じる急激な変化が当たり前の時代」です。小林市キャリア教育支援センターは、そんな時代に必要とされる適応力や柔軟性、未来の変化に対応するための戦略や危機管理、創造性やイノベーション力(新しい技術や発想を生む力)等を育成するために、各学校からの要望に対応いたします。

【こんな活動を行っています】

昨年度実施した授業や講演会から、いくつか紹介します。(学年は旧学年)



南小 食の世界旅行

6年生



地井さん(kokoya de Kobayashi)、高岩さん(地鶏の里)、志戸本さん(CHICCA キッカ)の料理とお話を楽しみました。テーマは「食育」と「キャリア教育」。(主催:南校区まちづくり協議会)

宮崎の未来を築く「キャリア教育」講演会

お話は、細野小中出身のプロゴルファー、脇元華さん。子どもの頃の思い出やプロになるまでの道のり、将来の夢について語り、質問にも答えて、たくさんメッセージを送っていただきました。

細野小6年生・細野中学生に加え、保護者や地域の皆さんも参加しました。

(主催:細野まちづくり協議会)



小林中 デジタルシティズンシップの授業

1年生



デジタルツールを用いて、責任ある市民として社会に参加する知識や能力を育てる授業です。プライバシーの定義から始まり、スマホやネットの正しい使い方、アプリの「利用規約」などについて学びました。(講師:今度(いまだ)珠美さん(日本デジタルシティズンシップ教育研究会))

野尻中 キャリア教育シンポジウム in 野尻



2年生

小林のさまざまな職種の社会人7名をお迎えし、前半は仕事や学生時代の話、パネラー同士及び生徒との質疑応答。後半はグループでいろいろな会話を楽しみ、交流を深めました。

東方中 性教育講演会

長鶴美佐子さん:宮崎県立看護大学教授



「思春期の心とからだ」についてのお話。ご自身の体験や、大学生の手記などをもとに、思春期の自分と友だちを理解することの大切さについて分かりやすく教えていただきました。

お知らせ

【詳しくはQRコードより】



パナソニックグループが、全国の中学生を対象に無料で提供する「キャリア教育の教材提供」と「パナソニック社員の出前事業」の募集を受け付けています。各中学校のニーズに合った質の高いプログラムが無料で受講できます。

すでに市内の中学校には案内しています。

てなむ

学校向け

地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙



- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 TEL22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 TEL23-4121



4月から5月にかけて、小・中学校で「交通安全教室」が行われ、命の大切さと共に、小学校の低学年は横断歩道の渡り方、高学年と中学生は自転車の乗り方を主に学びました。

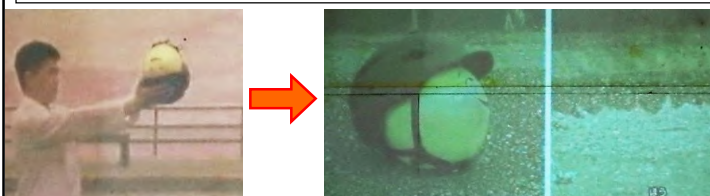


手を挙げる合図は大人も！



- 1 西小林小 2 須木中 3 細野小 4 小林小 5 東方中
6 永久津中 7 野尻中 8 南小

指導していただいたのは…(1~4・7) 小林 警察署交通課・小林市交通安全協会 (5) NPO 法人【ペダルハートきりしま】 自転車に関する様々なイベントを行っています。(6) 押領司誠さん(県サイクリング協会理事長・元永久津中校長) (8) 梅田ドライビングスクール



「ヘルメットの効果」の動画を視聴した学校もありました。水の入った風船を落とす実験では、ヘルメットのない方は割れてしまいました。



時速40kmでの衝突実験(南小)

出会の行事

幸ヶ丘小 1年生を迎える会



メッセージが書かれた「メダル」を、上級生が2人の1年生につけてあげる「自己紹介じゃんけん」などのゲームで楽しく過ごしました。

【上級生より】困ったことがあったらすぐに言ってね。これからも、どんどん仲良くなっていきましょう。

紙屋中 新入生歓迎会



よろしくお
願ひします

13名の新入生を迎え、生徒会執行部が企画して実施。専門部活動や部活動の紹介、学級ごとのあいさつの後、クイズやゲームで交流しました。

東方小・こすもす支援学校 対面式



支援学校

同じ敷地にある両校の児童が、それぞれの学級の紹介や自己紹介を行いました。(小林高校にある支援学校の5・6年生はリモートで参加) 今後、学年ごとの交流会や合同の学校行事でさらに交流を深めます。

【根井校長先生(東方小)】 みんなで一緒に取り組む交流活動が、今年もたくさん計画されています。

仲良くなるための秘訣は「相手の良いところを見つけ、笑顔でにっこり」です。

【菅(すが)校長先生(こすもす支援学校)】 あいさつをして、「あそぼう!」と、声をかけてくれるとうれしいです。

裏に続きます。

霧島岑神社の「あくまきづくり」



霧島岑神社が主催し、細野まちづくり協議会を始め、地域住民が協力して実施しました。地域の活性化と子どもたちの健やかな成長を願っての行事です。

あくまきづくり体験、餅つき、獅子舞の他、宝探しやスーパーボールすくいなどのゲームもあり、細野小学校、細野

保育園、日章保育園の子どもたちと保護者、地域住民など、約200名が参加して賑わいました。

小林市の魅力発信！

東方小「宮崎に誇れる東方の文化財」



どちらも、昨年度の6年生が作りました。



学習の成果をまとめ、パンフレットを作りました。内容は、オオヨドカワプロモ、二原遺跡公園、輪太鼓踊りなど、有形無形の文化財10件。いずれも写真入りで、クイズも交えて分かりやすく説明しています。 ※ 協力は井上誠二さん(社会教育課) パンフレットは中央公民館にも置いてあります。

細野小「観光パンフレット」



観光地や特産物、西諸弁など、小林市の魅力を、関係者へのインタビューも交えて紹介しています。「九州で唯一の星4つのひなもりオートキャンプ場」「口でとろけておいしいメロン・マンゴー」など、キャッチコピーも工夫した内容になっています。

※ 協力は、ハッシン!!コバヤシプロジェクト (小林市役所 地方創生課)



6年生や中学2年生が修学旅行先でチラシを配って小林のPRを行う学校もあります。地域について学び、その魅力を紹介する活動は、年々盛んになっています。

三松中 読み聞かせ

月に1度実施します。



8時から15分間、3学年6クラスで季節や学年に応じた絵本を読んでもいただきました。

「わが子に読み聞かせた絵本を久しぶりに読みました」と、今年度、メンバーに加わった肝付校長先生。保護者の皆さんからは「真剣に聞いてくれるのでうれしいです。子どもたちから元気ももらっています」との声が聞かれました。

こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



キャリア教育の充実を図るために、本市では県立看護大学と宮崎大学と連携してプログラムを提供しています。また、県立看護大学には「出張！ひむかアカデミア」事業があり、宮崎大学と本市は「包括的連携協定」を締結して、各専門分野の先生方との連携が図れるようになっています。(詳しくはキャリア教育支援センターまで)

社会が求める人材のスキルは？

デジタル化の加速度的な進展や、脱炭素化の世界潮流は、これまでの産業構造を抜本的に変革するだけでなく、労働需要のあり方にも根源的な変化をもたらすことが予想されます。

日本企業は、必要とされる具体的な人材スキルや能力を把握し、シグナルとして発することができているか。そして、教育機関はそれを機敏に感知し、時代が求める人材育成を行うことができているのか。(経済産業省HPより)

このような問題意識の下、経済産業省は、2050年の産業構造の転換を見据えて「未来人材会議」を設置しました。その中で話し合われた「社会が求める人材のスキル」を紹介します。

【2015年】 ◆ 注意深さ・ミスがないこと ◆ 責任感・まじめさ ◆ 信頼感・誠実さ ◆ 基本機能(読み・書き・計算等) ◆ スピード 等

【2050年】 ◆ 問題発見力 ◆ 的確な予測 ◆ 革新性 ◆ 的確な決定 ◆ 情報収集 等



てなむ

学校向け

地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙



- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 Tel.23-4121



野尻小(左)と栗須小(右)のボランティア集会です。見守り隊や読み聞かせ、学習支援など、各団体の代表の皆さんと顔を合わせました。

ボランティアの皆さんからは、子どもたちと活動することの喜びや感謝の言葉がたくさん聞かれ、学校への支援活動が皆さんの生きがいになっていると感じました。

今年度も、たくさんの地域学校協働活動が小中学校で計画されています。



【代表児童のあいさつより】

- ◆ いつも、僕たちのためにありがとうございます。これから野尻小が発展するよう、よろしくお願いします。(野尻小)
- ◆ これからいろいろな活動でお世話になります。僕たちと一緒に、楽しく活動してください。(栗須小)

さつまいもの苗植え

紙屋小 1・2年生



小雨の中、傘をさしかけてもらっての苗植えです。校内の「わくわく農園」に紅はるかと高系14号の苗を植えました。

【感想より】 ◆ 埋めたのが楽しかったです。 ◆ 棒で押すのが楽しかったです。 ◆ 教えてもらって上手にできました。

- ◆ おいもが早く大きくなって、早く食べたいです。

野尻小 1・2年生

野尻幼稚園と野尻保育園の園児も参加して、学校横の「なかよし畑」に、紅はるかを植えました。たくさんの方に手伝ってもらい、30分ほどで植え終わりました。



栗須小 2年生



営農組合・JAこばやし・包括支援センターの協力を得て、栗須保育園の園児と一緒に活動。たくさん収穫できるよう、竹串を斜めに挿して植えました。まっすぐだと大きくなります。

幸ヶ丘小 1~4年生



1~4年生の6名で、校内の「子ども農園」に60本近くの紅はるかを植えました。畑と苗は保護者が準備。途中で様子を見に来られ、いもの育ち方を教えてくださいました。

紙屋小・中合同田植え

小5・中1・2年



中2・3年

始めの会で、「苗は赤ちゃんです。3本の指で優しく植えてください」と杉元さん(地域コーディネーター)。その後、多くの地域の皆さんに協力してもらいながら植えました。

田んぼの横に「体験学習実習田」の古い看板が立っていました。そこには、5月「種子の消毒・播種」、7・8月「水の管理・あぜの草取り」、12月「収穫祭」などの年間計画と「作業は生徒の自主的活動を中心に…」の文字。昭和61年と書いてありました。当時の紙屋小・中では、1年を通して米作りを体験していたのでしょうか。時代とともに活動内容も変わります。

西小林小 畦(あぜ)づくり

5年生



協力はJA青年部 PTA環境整備部



機械での畦づくり

田んぼの中の泥土を盛り、水が外に漏れないようにする作業です。今は機械で行いますが、西小林小では、毎年、田植えの前に5年生が体験しています。クワやスコップを使って、田んぼの1辺に泥を積み上げていきました。畦づくりの大変さと機械のすごさを同時に感じた1時間でした。

【お礼の言葉】 大変でしたが楽しかったです。協力のおかげで早く終わり、感謝の気持ちでいっぱいです。

裏に続きます。

細野中 図書館オリエンテーション

1年生



市立図書館の川野さんを迎え、「授業に役立つ図書館の活用法」をテーマに、2クラスで実施。本を探す際には「並び方を知る」「何を探したいのか整理する」ことが大切というお話の後、日本十進分類表を用いて本を探す方法と図書室の本の並びを確認しました。

いろいろな本の紹介や、本とタブレットの良さを生かした正しい使い方のお話もあり、生徒たちはメモを取りながら熱心に聞いていました。

【本の紹介：「5文字で百人一首」より】

春すぎて 夏来(き)にけらし 白妙(しろたへ)の衣(ころも) ほすてふ 天(あま)の香具山(かぐやま) ⇒ **洗濯日和だ**

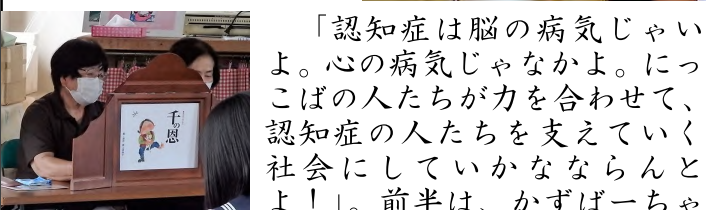
【お礼の言葉】 分類のことがよく分かりました。教えていただいたことを参考に、本を探してみたいです。

西小林中 認知症サポーター養成講座



3年生

タブレットで意見をまとめます。



「認知症は脳の病気じゃいよ。心の病気じゃなかよ。にっこばの人たちが力を合わせて、認知症の人たちを支えていく社会にしていかならんとよ!」。前半は、かずば一ちゃんのお話。軽妙な西諸弁で、認知症について分かりやすく教えてくださいました。

後半はグループでの話合い。「徘徊して迷子になってしまう」とか「ご飯を食べたことを忘れる」などの事例についてグループで声のかけ方などの対応を話し合い、発表しました。

最後は、認知症サポーターのお二人による紙芝居「千の恩」。認知症の母親の介護に疲れ、施設に移そうと考えた娘でしたが、孫を見て喜ぶ母の笑顔に心が変化していく物語です。

【お礼の言葉】 教えていただいたことを生かして、お年寄りに声をかけたいと思います。

【指導者の皆さん】 ◆ 小倉和也さん(和福祉サービス) ◆ 小林市西部地域包括支援センター ◆ 認知症サポーター ※終了後、オレンジリングをいただきました。



小林看護医療専門学校を訪問しました

先日、KSSVCの説明とボランティア登録の依頼をしてきました。学校は「地域密着型の教育の推進」を目標に掲げており、通常のカリキュラムの他、



1～3年の縦割りのゼミでボランティアの活動を考えているとのこと。小・中学校との活動で、できることがあればということでした。

詳しくはKSSVC事務局まで。

こんにちは! 小林市キャリア教育支援センターです



TENAMU交流スペース



「真のキャリア教育を考える」トークセッションの3回目。講師は瀧口尚志さん(小林秀峰高校教諭)。地域に密着した秀峰高校の探究活動の説明と、生徒が制作に関わった小林市の紹介動画について話をしてくださいました。

その後、参加した20人ほどが4～5人ずつに分かれてのグループトーク。小林のキャリア教育の現状と課題について語り合いました。

今後も不定期で、夜、開催します。キャリア教育に興味のある方はどなたでも参加できます。

三松中 社会人の話を聞く会

3年生



6名の方に来ていただき、今の仕事に就いたきっかけ、仕事の内容、やりがいなどを話していただきました。生徒は4つのブースを20分ずつで回り、質問やフリートークで交流しました。

大人の話は、失敗体験も含めて、生徒が視野を広げ将来への見通しをもつきっかけになります。今回の授業は、一人ひとりが自分自身と向き合う貴重な時間になったことでしょう。このような取組は市内の小中学校で行われています。

【講師の皆さん】 ◆ 富永征駿さん(社長業:牛商丑力) ◆ 外山れなさん(小林市シティセールスプロモーター・ANAキャビンアテンダント) ◆ 池上翔さん(ニシモロメディア「ピ」編集長) ◆ 坂口和也さん(社会福祉法人ときわ会施設長) ◆ 古川美好さん(株式会社グローバルリーフ管理薬剤師) ◆ 比志島隆太さん(Uターン起業家:CHILK経営)

てなむ

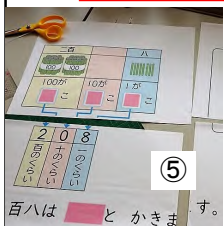
学校向け



地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

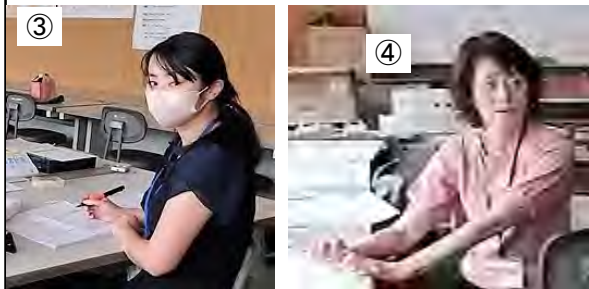
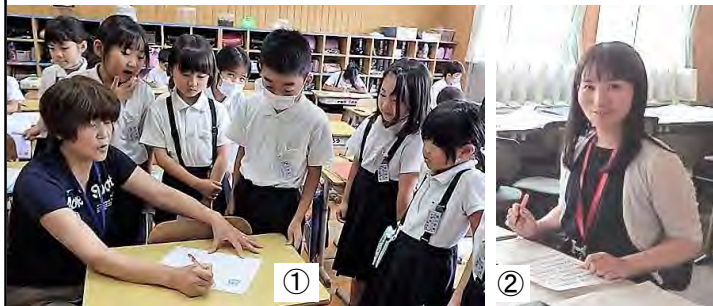
- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 Tel.23-4121

南小の学習支援



- ◆ 先生方大変さがよく分かるので、子どもたちと向き合う時間を少しでも増やしてほしいと思って…。
- ◆ 私たちにできることは任せてもらい、先生方にしかできないプロの仕事誇りをもちしてほしいです。

南小では保護者と地域住民のボランティア9名が交替で学習支援をしています。その方々に参加のきっかけを尋ねた答の一部が上のひと言です。活動を通して自分自身の「喜び」や「生きがい」も感じています、というお話も聞きました。「私たちの他にも、学校のお手伝いがしたいと思っている方はたくさんいらっしゃると思います。広報紙でもっと紹介してください」と、背中を押されました。



- ① 蒔苗(まかない)さん: 元小学校の先生。2年生の教室で、子どもたちと楽しく話をしながら算数のプリントの点検をされていました。
- ②③ 井手口さん・岡村さん: 保護者。プリントやノートのまる付けをされていました。
- ④ 奥名さん: 地域住民
- ⑤ 算数の教材を制作中でした。

【皆さんのひとこと】 ◆ 子どもたちから元気をもらっています。 ◆ 参観日以外の子どもたちの様子がよく分かります。 ◆ 小学生がどんなことを学習しているのかを知ることができ、参考になります。 ◆ 細かな作業もありますが楽しく仕事をさせてもらっています。

【南小 児玉校長先生】ボランティアの皆さんには感謝しています。主に学習支援で助けていただいています。たくさん目で見守っていただくことは、子どもたちを理解することに加え、安全・安心にも繋がると思います。

野尻小と栗須小でも学習支援ボランティアが活動しています。



紙屋小七夕づくり

1・2年生



「紙屋いきいきサロン」のメンバー6名と七夕飾りを作りました。この活動は10年以上続いており、皆さんは1年かけて少しずつ準備をしてきました。「作るのが好きですし、子どもたちとの出会いがとても楽しみです」とのこと。「もうすぐ来年の分を作り始めます」と笑って答えてくださいました。

(写真は1年生)

永久津小・中 田植え



6月下旬、梅雨の晴れ間に小学5年生と中学生約40人がもち米の苗を植えました。地区体育館から歩いて10分ほど、かくれ念仏洞近くの田んぼです。田植えが初めての小学生は、中学生や地域の方に教えてもらいながらだんだん上手に、中学生は慣れた手つきで次々と植えていきました。収穫の秋には、合同で稲刈りをします。

地域発見!

三松小 2年生



地域を巡る「まちたんけん」です。学級ごとに3つのコースに分かれて出発。子どもたちは、道路だけ書かれた地図を持ち、

先生の説明を聞きながら、見つけた建物や気づいたことを、その場で書き込んだり、後でまとめたりしていました。支援員さん3名も同行しました。



裏に続きます。

えびの市美化センター

東方小 4年生



ここでは、小林市の燃えるゴミの一部を処理しています。美化センターの仕事やリサイクルについての説明を聞いた後、制御室でクレーンの動きやゴミを燃やす様子を見学しました。

建物の外では、ゴミを運び込む様子や圧縮されたアルミ缶とスチール缶、リサイクル工場へ運ぶガラス瓶の積み込みも見学しました。

須木小 4年生

中央地区簡易水道浄水場



説明は小林市上下水道課

須木地区の中心部に水道水を供給する施設です。水道水の種類、小林市の水源、水をきれいにする仕組みについての説明を聞き、いろいろな装置を見せてもらいました。

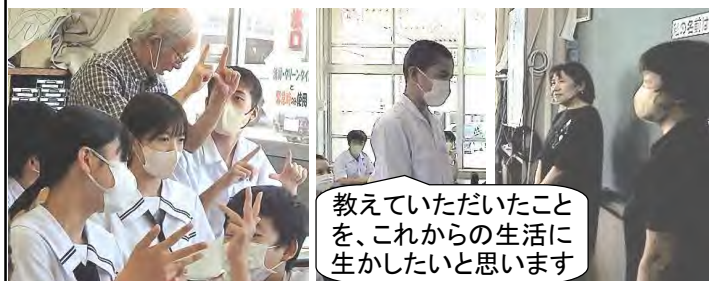
この後、急な坂道を10分ほど上り、きれいにした水を各家庭に配る配水池にも行きました。

小林中 手話講座

3年生



手話通訳者派遣協会と木の美会の皆さん



教えていただいたことを、これからの生活に生かしたいと思います

4クラスに2人ずつ講師が入り、聞こえない人の生活、伝える方法、簡単な手話、私たちにできることなどを学習しました。後半は、指文字を使っての自己紹介を練習し、発表しました。

中には、手話サークルで学んでいる生徒もあり、上手な発表に講師の方も感心していました。

【講師のお話より】聞こえない人は、日常生活で手話通訳者に頼ることが多いです。みなさんの中から、将来、手話のできるお医者さんや看護師さん、公務員が出てきてくれるとうれしいです。

小林小 租税教室

講師は小林税務署と小林法人会の皆さん約20名



6年生

山下さん(小林法人会青年部)



税金のない世界を描いたアニメの後、山下さんが税金の種類と役割について説明。税金のクイズもありました。後半はまちづくりのワークショップ(税金の有効な使い方を考えるシミュレーションゲーム)。どんな街をつくるのか、チームでテーマを決め、話し合いながら600億ZENの予算で、学校や病院、公園などの施設を整備しました。

【チームのテーマより】 ◆安全で暮らしやすい街 ◆自然豊かな町 ◆老人に優しい町 ◆人に優しく楽しい町 ◆観光地になる町 ※大人も入り、17チームで行いました。

① 税務署長の石原さんにプレゼンをしたチームも…。その際、税務署の仕事を知り、「税務署員になろうかな～」と言った児童もいました。② 学級の代表3チームが発表。施設のシールを貼った地図を見せて説明しました。

体験型の租税教室の申込は小林税務署まで。年度途中でも大丈夫とのことでした。中学校版もあります。

こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



キャリア教育トークセッション



TENAMU 交流スペース

「真のキャリア教育を考える」トークセッションの4回目。お話は中村仁さん(小林西高校教諭)。調理科「高校生の三つ星レストラン」、総合ビジネス科「企業での長期インターンシップ」、普通科「総合的な探求の時間のプロジェクト」など、特色のある取組について説明してくださいました。

その後は、4~5人ずつに分かれてのグループトーク。さまざまな職種の方々が、小林のキャリア教育についてそれぞれの想いを語りました。

今後も月に1度、夜、開催します。キャリア教育に関心のある方はどなたでも参加できます。





地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 TEL22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 TEL23-4121

「協働の学校づくり」推進協議会



小林市教育委員会が年に2回開催しています。各中学校区の代表校長、学校・地域コーディネーターなど約30名が出席しました。主な内容は…

- ◆ あいさつ (中屋敷教育長)
- ◆ 説明「これからの学校運営協議会と地域学校協働活動について」(学校教育課)
- ◆ グループワーク「課題解決につながる連携の方策について」※ 他校区との情報交換
- ◆ まとめ・助言 (宮崎大学教育学部 遠藤准教授)

グループワークのまとめ

【小林中校区】 学校運営協議会の形骸化を避けるため、毎月、職員と委員の企画会を行っている。組や親子会への加入減が「地域力」の弱まりになる。子どもから高齢者まで、誰もが参加できる取組が必要だと思ふ。

【細野中・西小林中校区】 ◆ 校区の防災面、安全面が課題。親子でゴミを拾いながらの登校に加え、危険箇所の点検をしながらの登校や、地域と一緒に安全点検で防災意識を高めたい。地域と学校がこういう場で話し合うことはとても良い機会になっている。

【永久津中・東方中校区】 ◆ 放課後子ども教室の運営についての情報交換で盛り上がった。地域の方々の協力を得て行っている体験活動を、生きる力にどう繋げるかが課題。地域のために学校ができることに取り組んでいきたい。

【三松中・須木中校区】 ◆ 地域の祭りを通して地域と学校が連携。子どもたちが主体的に参画する取組をすることで地域が盛り上がるのではないかと。地域に出ることで、子どもたちの地域への愛着が高まる。地域のためになる活動を、クラブ活動や部活動でできないか。例えば「地域探究部」など。発達段階に応じた学校の伝統芸能の継承が重要。

【野尻中・紙屋中校区】 ◆ 鉦踊り保存会が解散。学校での継承活動の在り方は？保護者や地域の協力があるが、子どもたちの見守り体制の確立が急務。地域の防災活動に毎年参加している。学校の教育活動と地域主体の活動との兼ね合いを考え、活動を精選して内容を充実させたい。学校の職員とPTAや地域住民が頻りに意見を交わすことで活動が充実していくと思ふ。

遠藤先生からは、「子どもを中心に、地域と学校が同じ方向を向いて」「子どもを社会の一員として大人の活動に可能な限り関わらせる」「このような会を各中学校区で」など、たくさんのアドバイスをいただきました。

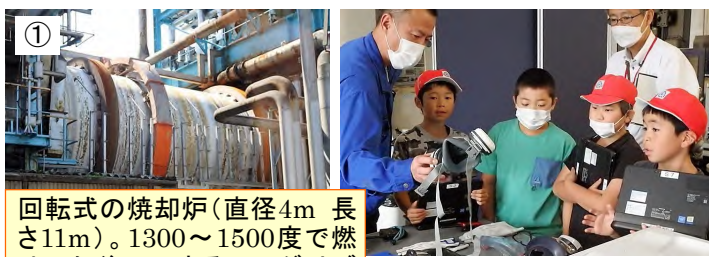
霧島岑神社 六月燈



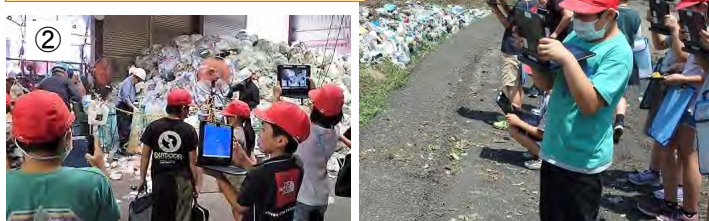
① 細野まちづくり協議会が呼びかけ、細野小・中・保育園などから、たくさんの絵が寄せられました。② (6月30日の昼休み) 細野小の児童が地域の方と一緒に、灯ろうに絵を貼りました。③ (六月燈当日) 参道には約100基の灯ろうが飾られ、境内では巫女の舞や鼓囃太鼓。屋台や縁日もあり、大勢の人で賑わっていました。

永久津小 ゴミとリサイクルの学習

4年生



① 回転式の焼却炉(直径4m 長さ11m)。1300~1500度で燃やした後にできるスラグはブロックやアスファルトの材料になります。小林市の燃えるゴミの一部を処理しています。



①【九州北清】 ゴミ処理やリサイクルについて社員の方からお話を聞いた後、バスで工場内を巡り、中央制御室へ。クレーンやいろいろな機器の説明を聞き、防塵マスクや皮の手袋など、工場に使われている道具も見せてもらいました。

②【清掃工場】 廃プラ分別施設で廃プラ以外を取り除く作業を見学。中身が残った歯磨き粉のチューブやペットボトル、発泡スチロールが除かれていました。その後、最終処分場へ。最終処分場(埋立地)は平成3年に完成。当初は平成15年に一杯になると予想されていましたが、リサイクルが進んだおかげで、あと60~70年は大丈夫だそうです。

須木中 農業体験学習

どちらも昼食の準備をしていました。



Sano Farm(南崎さん) ねむの花咲く宿(谷山さん)

須木中の全校生徒がえびの市と高原町の5軒の農家で、地域の散策や野菜の収穫、昼食づくりなどを体験しました。農業体験学習はスポーツ振興課と北きりしま田舎物語が行っている事業。農業や食、命の大切さを学ぶことが目的です。今年度も数校の中学校が実施する予定です。

東方中 福祉体験学習

1年生



1年生15人が東方保育園を訪問しました。幼児との接し方を学び、保育士の仕事に触れる体験学習です。

園庭で遊んだ後は、年少から年長までのクラスにそれぞれ入り、ゲームで交流。その後、保育園の七夕祭りの準備を手伝いました。

午後は社会福祉協議会の高齢者疑似体験。翌日は福祉施設など3箇所で、1日実習をしました。

紙屋中 地域に花を植える活動

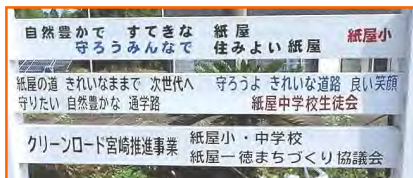
1年生



ゴミ拾いをしながら花壇まで…



紙屋大橋とセブンイレブンの中間にある国道沿いの花壇です。1年生11人が、紙屋一徳まちづくり協議会の皆さんと一緒に、日日草・松葉ボタン・マリーゴールドの苗を植えました。



地域での植栽は毎年行われており、来年3月には、紙屋小の6年生が同様の活動をします。

野尻中 手話体験学習

3年生

指導は野尻手話サークル



手話の「拍手」



口の動きが分かるようにマスクを外しています。

8名の皆さんが来校。あいさつなど、簡単な手話を学んだ後、指文字を使った自己紹介を練習しました。その後、代表数名が、聴覚に障がいがある方に自己紹介。全員が上手に伝えることができました。最後は手話歌「糸」を全員で歌いました。

【お礼の言葉】手話と一緒に声を出すことが大事だということ学びました。帰ったら、家族でやってみたいと思います。

こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです

キャリア教育トークセッション



TENAMU交流スペース

「真のキャリア教育を考える」トークセッションの5回目。講師は塚田一久さん(小林高校教諭・探究科学コース主任)。娘さんに「コバ高は勉強ばかり」と言われてショックを受けた話から始まりました。主な内容は…



- ◆ 学校紹介(進路の状況等)
- ◆ キャリア教育とは ◆ 探究科学コースの特色(ハイレベル学習で学力を・キャリア教育で将来のビジョンを・探究活動でコミュニケーション力を、新しいものを生み出す力、何事にも挑戦する力を) ◆ 探究科学コースの生徒の変容(身に付けた能力) ◆ 生徒の意識調査の結果(学校の満足度91.6%・学校生活全体の充実度94.7%)

その後はグループトーク。参加者それぞれの小林高校の思い出や印象が語られ、「勉強ばかり」というイメージを払拭するアイデアを考えたりしました。

次回は8月30日、午後7時からです。



てなむ

学校向け



地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 Tel.23-4121

以前、あるキャリア教育の研修会で、「大人から子どもたちへのメッセージの大切さ」が話題になりました。今年の夏休み、大人の言動に刺激を受けた子どもたちもたくさんいることでしょう。子どもたちは、大人との交流を通して多くを学び成長します。

地域学校協働活動は、大人と子どもが、さまざまなメッセージをやり取りできる貴重な機会です。



東方小・こすもす支援学校 ふれあい交流



5年生

両校では、業間を使った交流会を、各学年が年に2回ほど実施しており、今回は5年生がじゃんけんゲームで交流を深めました。運動会を始め、一緒に行う学校行事もたくさんあり、今年度からは、時々、清掃も一緒にしています。

このような交流を通して、子どもたちは、相手を理解し、自分を知り、互いに学び合っています。

水質・水中生物調査



「霧島・小林探検隊」が夏休みに水質・水中生物調査を行いました。参加したのは市内4校(小林小・南小・細野小・三松小)の6年生4人。保健所職員の指導で薬品を使って水質を検査した後、川の中にどんな生き物がいるのかを調べました。

場所はかくれ念仏洞近くの永久井野川。水は冷たく、結果は、とてもきれいな水質でした。

【協力】小林市生活環境課・小林保健所
小林市子ども会育成連絡協議会



「霧島・小林探検隊」は社会教育課が行っています。現在、学校を通じて隊員を追加募集中です。

心肺蘇生法講習会



放課後子ども教室のコーディネーターとサポーターを対象とした講習会が中央公民館で行われ、市内5つの教室から18名が参加しました。講師は中央消防署員。参加者は2つのグループに分かれ、AEDを利用した救命処置の手順を、実技を通して学びました。

三松小・中 交流学习

小学1年生と中学3年生



【活動内容】トランプ・折り紙・読み聞かせ・ドッジボール・鬼ごっこ など



1年生が楽しく活動できるよう、中学生が準備をしてきました。各学級を2つに分け、6つのグループが教室と運動場で交互に活動。いたるところで子どもたちの笑顔が弾けていました。

この活動は小中連携の一環として、毎年行われています。



【事務局より】 ◆ 写真を提供していただけますか ◆
事務局では、活動の写真を募集しています。次の方法で投稿をお願いします。

学校間共有のKSSVCフォルダに「2023投稿BOX(画像データの提供用)」があります。学校と活動名を書いたフォルダに、画像データ(1件につき5枚以内)を入れてください。その際、「写真を入れました」の電話をいただくと幸いです。互いの活動を市内で共有しましょう!

裏に続きます。

野尻小 棒踊りの練習

5・6年生



ALTのダレン先生(ジャマイカ出身)も興味津々でした。

東麓新地馬場棒踊り保存会の皆さんから、手足の動きやかかけ声、間隔のとり方などを丁寧に教えてもらいました。

5年生は、棒踊りが受け継がれてきた歴史や、踊りに使う衣装や道具について事前に学習して臨みました。

地域では、第二次世界大戦で中断していた棒踊りを、戦後、住民が再生し、平成10年から野尻小の子どもたちに教えるようになりました。秋の運動会で披露します。

紙屋中 SDGs 講演会



難波裕扶子(なんばゆうこ)さん。株式会社シンク・オブ・アザーズ代表取締役

(難波さんのお話より)

キーワードは「私たちの世界をつくり変える」。そのためにも、地球規模で学び考えましょう。日々の生活の中、身近な地域社会で

行動を起こし、私たちひとり一人が中心となり変化を起こすことが大切です。服を選ぶときにも、それを作っている人たちのことも考えてみましょう。大人だけでは目標は達成できません。皆さんの力が必要です。

お話の後はカードゲーム。SDGsのゴールが書かれた17枚のカードを、大切だと思う順番に並べます。それから、説明役の1人を残してメンバーは他のグループへ移動。残った説明役が新しく来たメンバーに、自分たちの考えを説明しました。

【お礼の言葉】SDGsを続けることで地球の環境が変わることを知りました。できることをやってみようと思います。



こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



「こばやし・てなむで学びの1週間！」(キャリア教育編)を8月5日から8月10日まで、TENAMU交流スペースで実施しました。

映画上映「夢みる小学校」



教育の在り方を問い直すドキュメンタリー映画。私立の「きのくに子どもの村学園」、公立の「伊那市立伊那小学校」、

「世田谷区立桜丘中学校」。それぞれ校風も授業内容も異なりますが、“子どもファーストな学校”という共通項があります。楽しくなければ学校じゃない、宿題がない、テストがない…。学校のイメージが変わる映像が満載でした。

小学生起業家ふーちゃんのおはなし会



古着循環ビジネスを手掛けるふーちゃん(東京都の小学6年生)と、20数名の親子が語り合いました。前日には、古着を用いたSDGsワークショップも行いました。

読み聞かせ



保育園児と小学生、約40名が参加。「読み聞かせ」連絡協議会の皆さん4名が、手あそび歌などのゲームをはさみながら、いろいろな絵本を読んでもらいました。

高校生寺子屋テナム



小・中学生を対象にした小林高校生による学習会。台風の影響で6回の予定が4回になりましたが、各2時間の学習会に、多い時には十数名が参加して、勉強を教えてもらいました。

教師を目指している高校生もいて、教えることの楽しさや難しさも感じたようでした。

多様な性を理解する学習会



講師は黒木瑞季さん。(宮崎県男女共同参画地域推進員)女の子として生まれ、男の子として育てられたご自身の生い立ちを講演等で語り、LGBTへの正しい理解を広める活動をされています。



地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 TEL22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 TEL23-4121



先日、「絆を結ぶ物語楽園」で成澤俊輔(なりさわしゅんすけ)さんのお話を聞きました。成澤さんは、自称「世界でいちばん明るい視覚障がい者」。経営コンサルタントとして国内外で活躍されています。

講演では、楽園の「校長」と「副校長」を務める小林高校生との対話を通して、小・中・高校生にたくさんのアドバイスを送っていただきました。

その一つが「大人と話をするのに慣れる」というもの。昔とくらべ、地域社会の中で子どもが大人から学ぶ機会が少なくなっている今、多くの経験を通して表現力を養ってほしいとのこと。「量からしか質は生まれない」の言葉とともに、経験することの大切さを強調されました。

地域学校協働活動で、大人との交流から生まれる可能性を感じたひとときでした。(「絆を結ぶ物語楽園」実行委員会主催・キャリア教育支援センター共催)

須木中 暮らしの困り事助け隊



社会福祉協議会須木支所の呼びかけに覚え、17名の生徒とサポーター6名(ボランティア連絡協議会・民生児童委員・夏木地区友愛クラブ)が参加しました。あいにくの雨で、活動内容が限られましたが、地域の住宅1軒と須木支所、ふるさとセンターでガラス拭きをしました。

活動後は、ふるさとセンターで終わりの会。修了証明書をもらい、全員が感想を発表しました。サポーターの皆さんが所属する団体についての説明もあり、子どもたちは、地域のために活動している方々の思いを感じ取っていました。

三松中 江戸太神楽



紙風船回しに挑戦



演者は仙若さん(西田英智さん:野尻町出身)。演芸場やテレビ等で活躍する他、海外公演も行っています。これまでも、里帰りした際に三松小や東方小で公演していただきました。

傘回しやジャグリングの披露に加え、体験や質問のコーナーもあり、生徒たちは演技の度に大きな拍手を送っていました。

【江戸太神楽(えどだいがくら)】獅子舞と曲芸を中心とした大衆芸能。400年の歴史があります。

【質問の答より】◆ 舞台俳優を目指していましたが、伝統芸能のおもしろさにひかれました。◆ 最初に練習したのはジャグリング。3年ほどでいくつかできるようになりました。

◆ 土瓶を使った芸が一番難しく、まだできない技がいくつかあります。一番好きなのも土瓶の芸です。

【お礼の言葉】伝統芸能の魅力が、よく伝わりました。目の前で演技してくださったので、とても新鮮で迫力がありました。伝統芸能への興味が湧いてきました。

避難訓練(地震)



9月1日の「防災の日」の前後に、小・中学校では避難訓練が行われました。



東方小



毎回、こすもす支援学校と合同で実施。防災頭巾をかぶっているのは支援学校の児童です。

裏に続きます。



体育館に避難した後は、これまでに起きた震災についての講話。生徒たちは、過去の教訓に学び、災害への意識を新たにしていました。

紙屋小 城攻め踊り

4~6年

わらじを履きます。



小中合同運動会前のリハーサル。着付けの練習も兼ねています。紙屋中のグラウンドで一度練習した後、保護者や保存会の皆さんに手伝ってもらい、衣装や矢旗(背中の飾り)を身に付けました。運動会での発表は30年以上続いています

運動会での演技
(9月9日)



南小 まちなか松栄見学

3年生



店長さんへ質問



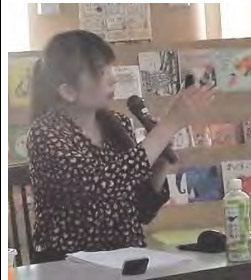
お客さんやお店の方に話を聞きました。

社会科見学です。店長の本村さんにたくさんの質問をした後、グループで店内を回り、質問したりメモを取ったり…。お客さんへの質問の後、いろいろな話をしているグループもあり、コミュニケーションの良い機会にもなっていました。

こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



多様な性を理解する学習会



「1人の女の子が生まれ、男の子として育てられましたが、その違和感や周りの反応に耐えられないことがたくさんありました」と、講師の黒木さん(前号で紹介)はお話を始めました。以下は主な内容です。

- ◆ 男の子とは遊ばず、女の子と遊んでいたらいじめられ、小学校5・6年の昼休みは、離れた校舎のトイレで過ごしました。
- ◆ 「男らしくない」自分を責め、歩き方やあぐらで「男子の演技」をしていると、心と身体が1日でへとへとになりました。
- ◆ 小学生の頃、「女の子みたいに雑巾をしぼって！もっと男らしくしぼれないの」と先生に言われたことが忘れられません。
- ◆ 17歳で「死」を意識しました。でも、私は楽になるけれど、同じ悩みを抱えた子どもたちは…と考え、とどまりました。
- ◆ 笑いをとるために「オネエ」をいじる番組もあります。障がいのある人が笑いの対象にされない社会が理想です。
- ◆ さまざまな危険を承知で、11時間の大手術を受けました。その時多くの友だちが支えてくれました。
- ◆ 私はいじめや差別をした人たちを恨んではいません。これからの子どもたちが、私と同じ境遇で悩まないよう、社会を変えたいと思っています。その為の力をどうかお貸しください。未来を変えるのはあなたです。

昨年、東方小の4~6年生が黒木さんのお話を聞きました。下は、2人の6年生(今の中学1年生)が述べたお礼の言葉の一部です。

- ◆ いろいろな性があることを知りました。LGBTをカミングアウトされても許可なく言わないと心に誓いました。
- ◆ 決められた性に従うのではなく、自分のありのままに生きている人たちがいることを、たくさんの人に伝えたいです。そんな人たちを傷つけたくありません。

これを聞いて、お話をきちんと受け止めていると感心しました。後日、このことを黒木さんに話すと、東方小からの感想文を読んだそうで、「正直、大人も4年生も、言葉が難しく書かれているか幼いかだけで、書かれている内容はさほど変わらないんですね。とても不思議ですけど…」という答えが返ってきました。

学校から写真を提供していただいています。学校間共有のKSSVC「投稿Box」をご活用ください。





地域学校協働活動と
キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 Tel.23-4121



永久津小 岡原田の神踊り



保存会による指導

永久津中の全校生徒が校内の畑でさつまいもを収穫しました。地域コーディネーターの神之菌さんと今別府さんがトラクターで掘り起こした後、手で掘って収穫。今年は暑さや鹿の害で量が少ないとのことでしたが、生徒たちは楽しく活動しながら収穫の秋を感じていました。

いもほりや稲刈りに協力していただいている地域の方々には本当に頭が下がります。もし、学校独自で農業体験をするとしたら？ 田畑や苗の準備、作業の説明のことなどを考えるとかなり難しいでしょう。活動中、「感謝の気持ちをもって」とか「たくさんの方に支えられて」など、子どもたちや先生方の言葉によく出会います。

別名「めしげ踊り」。約800年前から肥後・薩摩を中心に唄い踊られている豊年踊りで、小林では岡原地区に代々伝わっています。笛に合わせて地面を蹴い、七・七調の相撲口説にのせて大きなめしげ(しゃもじ)を持って勇壮に踊ります。運動会では3年生から6年生の子どもたちが披露しました。

伝統を繋ぐ子どもたち

小林市の郷土芸能を3つ紹介します。

小林小 兵児踊



4年生と真方一区兵児踊
保存会の皆さん(運動会)



東方中 東方輪太鼓踊り



陰陽石祭り



豊臣秀吉の朝鮮出兵に加わった島津氏が、軍勢の士気を鼓舞するため、鉦や太鼓を打ち鳴らしつつ戦ったことが起源とされています。県無形民俗文化財指定

兵児(へこ)とは鹿児島地方で青年男子のこと。天正年間(450年ほど前)、島津・伊東の争いで、島津氏が薩摩武士の士気を鼓舞するために、ほら貝・太鼓を鳴らし踊らせたのが起源と伝えられています。また、大名の武備の強化を抑える徳川幕府に対して、兵児踊りを通して日頃の土風の鍛錬に励んだという説もあります。

- ※ 他の郷土芸能についても、次号以降で紹介します。
- ◆ 小林市郷土芸能フェスティバル が6年ぶりに開催されます。11月12日(日) 午後1時~(小林市文化会館)

裏に続きます。

細野小 図書館見学

2年生



2クラスの児童が「見学」と「質問」を交替で行いました。見学では、他のお客さんの迷惑にならないよう静かに見て回り、1人4冊以内の本を借りました。質問の時間には、図書館の仕事や本についての質問をたくさんしていました。

須木小 すき特産見学

3年生



3年生6人が、栗と柚子の集荷場、農産物加工場、特産品の売店で担当者から説明を聞き、地域の魅力について学びました。

【質問の答より】 ◆ 須木の栗はふるさと納税の返礼品にもなっており、県外からもたくさんのお客さんが訪れます。 ◆ 柚子をしぼる機械を休ませないよう、季節によって、市外の日向夏やポンカンも加工します。 ◆ 約50種類の商品があります。食べやすいように工夫して商品を開発します。 ◆ 材料費や人件費、利益を考えて値段を付けます。 ◆ 従業員は48人。半数が地元の人です。 ◆ 栗とユズの時期(9月～12月)が忙しいです。袋詰めやビン詰は機械です。

西小林小 大野勇太さんコンサート



大野さんは東京を中心に活動しているシンガーソングライター(高原町後川内出身)

大野さんが作詞作曲した「霧島山」を、4年生が西諸音楽祭で歌うことになり、歌唱指導をしてくださいました。それに先立ち、全校児童のために20分間のミニコンサートが開かれました。

歌ったのは、「霧島山」と「吉都線～夢をのせて～」

【お話より】 よそで暮らしてみても、それまで恵まれた環境にいたんだなと思いました。霧島の山々があるからこそ、水や空気に恵まれています。こちらでは当たり前のことでも東京ではそうではありません。水道よりペットボトルの水を飲んでます。ふるさとを離れた時、皆さんもふるさとの良さに気づくと思います。ぜひ発見してください。

細野中 思春期ピアカウンセリング講座



県福祉保健部の事業。思春期の心とからだについて考えるプログラムです。宮崎大学医学部看護学科の2～4年生12名が6名ずつ、3年生の2つのクラスで授業をしました。主な内容は

- ◆ ピアとは… 同じような立場や境遇、経験等を共にする人たちを表す言葉
- ◆ 紙芝居「流されて青島～男女5人夏物語」… 性がテーマの物語についての意見交換
- ◆ アンドロギュノス… 多様な性についての理解を深める物語
- ◆ 愛の12段階… 恋愛を、その時の感情だけでなく、自分の人生の段階を見据えて考える。
- ◆ 4億分の1… 受精の確率

生徒たちは、意見交換を通して相手の考えに触れ、多様な価値観があることを理解しました。

こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



大角恭代さん(野菜ソムリエ)による料理教室。小学生と保護者、約20名が参加して小林中央公民館で行われました。メニューは、「里芋団子のお出汁がけ」と「秋野菜のカレー風」など。今が旬の小林の食材を使った料理に、子どもも大人も、和気あいあいとした雰囲気を取り組んでいました。

羽田野祥子さんの講演会

テーマ「稼ぐ力とキャリア教育」



羽田野さんは日南市で「企業体験プログラム」を実践しています。これは、中高生が「起業家」となり、本物のお金を使って自分たちで事業を立ちあげ、販売や決算について学ぶものです。オリジナルデザインのTシャツやトートバッグの販売など、中高生が手掛けたプロジェクトの紹介に加え、やりたいことを実現する力を身に付ける、試行錯誤しながら仲間と協力してやり遂げる、仕事の成り立ちを知り、自分の将来の道筋を立てることの大切さを語ってくださいました。

本市の「こすもす科」の授業でも、子どもたちの街づくりのアイデアがたくさん生まれています。